



7月30日(木)、7月31日(金)、8月26日(水)の3日間に、本校 SSH プログラムの一つである関西研修に2年生8組40名と希望生徒23名が参加しました。

本年度の関西研修は

- ①午前：大阪大学レーザーエネルギー研究センター
午後：理化学研究所生命システム研究センター
 - ②午前：神戸大学発達科学部・農学部 午後：株式会社シスメックス
 - ③午前：京都大学農学研究科地域環境科学専攻 午後：iPS細胞研究所
 - ④午前：京都大学野生動物研究センター 午後：iPS細胞研究所
- 以上の4種類の研修を実施しました。



それぞれの研修では、関西圏の大学や、会社の研究施設を見学させてもらい、講義を受けての実験などをさせていただきました。

第一線で活躍しておられる教授や先生方に、実際に実験を教えてもらうこともでき、研究をすることの大変さや楽しさを知ることができました。



iPS細胞研究所では、本校の卒業生であり、昨年度特別講義をしていただいた京都大学の長船健二教授に施設内の案内をしていただきました。非常に高額な研究機材や、徹底された実験環境づくりに驚くことばかりでしたが、8月26日に研修に行ったグループは、幸運にもiPS細胞研究所所長にしてノーベル賞を受賞された山中伸弥先生をお見かけすることもできました。

案内して下さった長船先生は、新聞やテレビにもよく出演されている先生で、7月22日の朝日新聞にも右のような記事が掲載されました。iPS細胞はこれから研究がもっと盛んになる分野です。記事を読んで自分の将来を考える参考にしてもいいかもしれませんね。

iPS細胞が腎障害に効果があることを長船先生らによってマウスを使った実験で確認した記事が掲載されていましたが、著作権保護の観点からHP上では掲載していません。

アンケートの感想(抜粋)を紹介します。

- ・ 本物の現場を見てその空気に触れることができたのは大変うれしく思います。
- ・ 普段は公開されていない場所も目せてくださいました。いろんな学生を見て、自分の将来を想像してみたりしました。
- ・ 実験などがとても楽しく、時間が速く過ぎて行っても充実した日になりました。
- ・ 働いている方々が、自信や目標を持っているなあ。と見ているだけでわかるくらい輝いていました。
- ・ 非常に内容が濃く、いい経験がたくさんできたので、生物系にも興味をもつことができ良かったと思います。
- ・ 世の中グローバル化が進んでいるので英語はやっぱり必要だと思った。
- ・ 研究内容だけでなく高校生でやっておくべきことも教えていただきました。それは自分のやりたいことに向けてがんばろうと思える材料になりました。

